

フランクリン・テンプレートン・アメリカ高配当株ファンド (毎月分配型) / (3ヵ月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 資産複合

交付運用報告書

(毎月分配型)

第133期(決算日2024年3月21日) 第134期(決算日2024年4月22日) 第135期(決算日2024年5月20日)

第136期(決算日2024年6月20日) 第137期(決算日2024年7月22日) 第138期(決算日2024年8月20日)

(3ヵ月決算型)

(年2回決算型)

第44期(決算日2024年5月20日) 第45期(決算日2024年8月20日) 第23期(決算日2024年8月20日)

作成対象期間(2024年2月21日~2024年8月20日)

(毎月分配型)

第138期末(2024年8月20日)	
基準価額	14,281円
純資産総額	25,217百万円
第133期~第138期	
騰落率	8.5%
分配金(税込み)合計	600円

(3ヵ月決算型)

第45期末(2024年8月20日)	
基準価額	9,977円
純資産総額	6,120百万円
第44期~第45期	
騰落率	8.5%
分配金(税込み)合計	890円

(年2回決算型)

第23期末(2024年8月20日)	
基準価額	33,258円
純資産総額	16,681百万円
第23期	
騰落率	8.5%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「フランクリン・テンプレートン・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型) / (3ヵ月決算型) / (年2回決算型)」は、2024年8月20日に決算を行いました。

当ファンドは、配当収入の確保と信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、フランクリン・テンプレートン・ジャパン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

フランクリン・テンプレートン・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

(営業日の9:00~17:00)

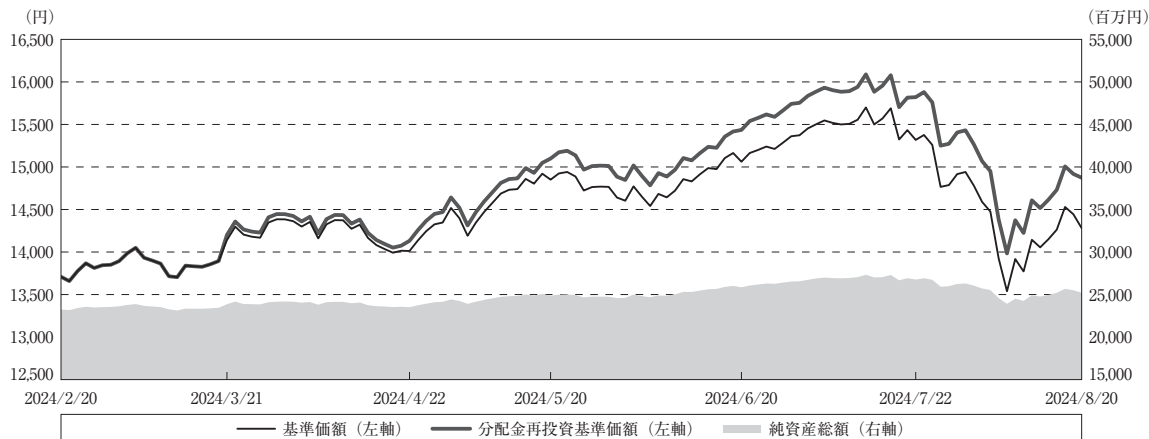
<https://www.franklintempleton.co.jp>

運用経過

<フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

作成期間中の基準価額等の推移

（2024年2月21日～2024年8月20日）



第133期首：13,709円

第138期末：14,281円（既払分配金（税込み）：600円）

騰落率：8.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2024年2月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス（分配金再投資ベース）となりました。

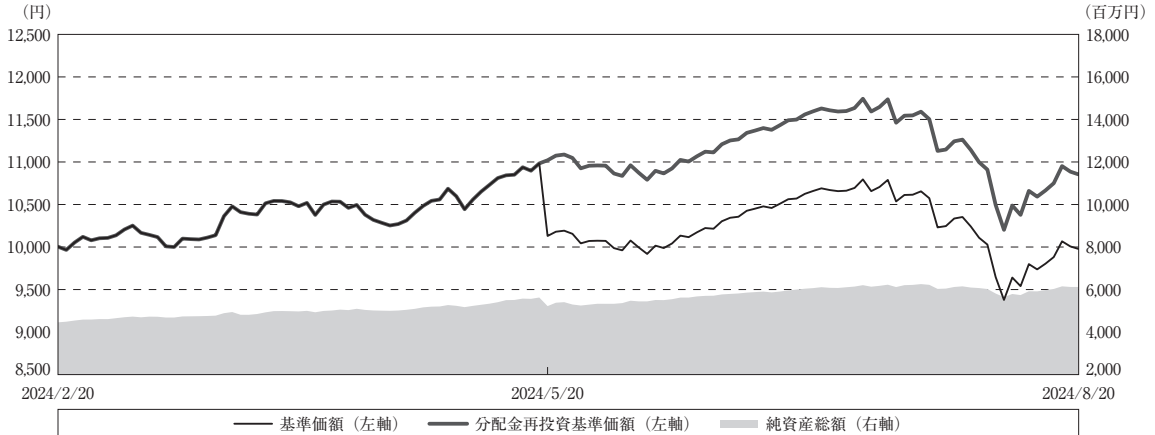
米ドル・円相場が米ドル安・円高となったことから為替要因はマイナスとなったものの、株式要因については、株式市場、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場の上昇などを受けて、プラスとなりました。

運用経過

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

作成期間中の基準価額等の推移

（2024年2月21日～2024年8月20日）



第44期首：10,004円

第45期末：9,977円（既払分配金(税込み):890円）

騰落率：8.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2024年2月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス（分配金再投資ベース）となりました。

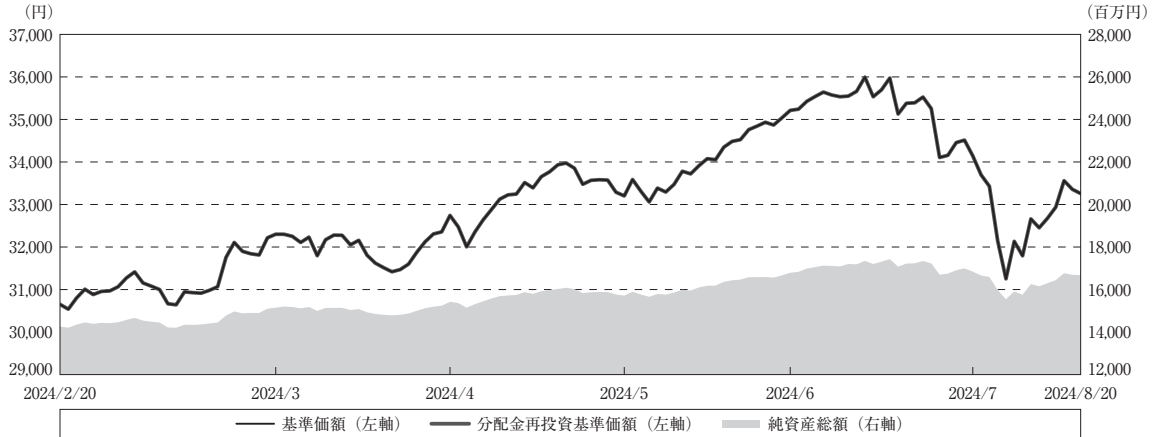
米ドル・円相場が米ドル安・円高となったことから為替要因はマイナスとなったものの、株式要因については、株式市場、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場の上昇などを受けて、プラスとなりました。

運用経過

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

期中の基準価額等の推移

（2024年2月21日～2024年8月20日）



期首：30,652円

期末：33,258円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率： 8.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2024年2月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス（分配金再投資ベース）となりました。

米ドル・円相場が米ドル安・円高となったことから為替要因はマイナスとなったものの、株式要因については、株式市場、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場の上昇などを受けて、プラスとなりました。

<フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

1 万口当たりの費用明細

（2024年2月21日～2024年8月20日）

項 目	第133期～第138期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	139	0.952	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(68)	(0.465)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(68)	(0.465)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.017	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（株 式）	(2)	(0.013)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資証券）	(1)	(0.004)	
（M L P）	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 作成期間の有価証券取引税 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（株 式）	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資証券）	(0)	(0.000)	
（M L P）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	11	0.075	(d) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	(1)	(0.004)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
（その他1）	(4)	(0.024)	M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用等（△の場合は、未払費用の組戻し）
（その他2）	(6)	(0.040)	権利処理に伴う費用（外国税額分も含む）
合 計	153	1.044	
作成期間の平均基準価額は、14,583円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

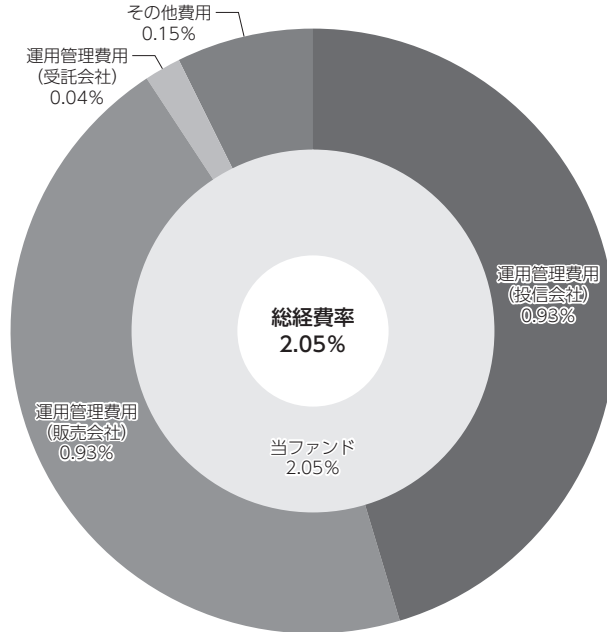
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○**総経費率**

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.05%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

1万口当たりの費用明細

(2024年2月21日～2024年8月20日)

項 目	第44期～第45期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	99	0.952	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(48)	(0.465)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(48)	(0.465)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.019	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の 平均受益権口数
(株 式)	(1)	(0.014)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(投資証券)	(0)	(0.005)	
(M L P)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = 作成期間の有価証券取引税 ÷ 作成期間の 平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する 税金
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(M L P)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	9	0.085	(d) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益 権口数
(保管費用)	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷等費用)	(1)	(0.008)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付 および届出に係る費用
(その他1)	(3)	(0.026)	M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払 費用等(△の場合は、未払費用の組戻し)
(その他2)	(4)	(0.043)	権利処理に伴う費用(外国税額分も含む)
合 計	110	1.057	
作成期間の平均基準価額は、10,350円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

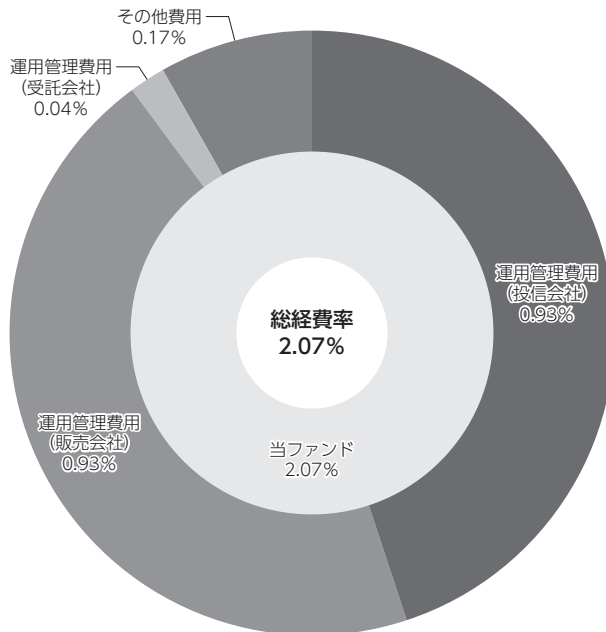
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.07%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

1 万口当たりの費用明細

(2024年2月21日～2024年8月20日)

項 目	当 期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	315	0.952	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(154)	(0.465)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(154)	(0.465)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(7)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.018	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数
(株 式)	(4)	(0.013)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資証券)	(1)	(0.004)	
(M L P)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(M L P)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	26	0.079	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷等費用)	(2)	(0.005)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
(その他1)	(9)	(0.026)	M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用等(△の場合は、未払費用の組戻し)
(その他2)	(14)	(0.041)	権利処理に伴う費用(外国税額分も含む)
合 計	347	1.049	
期中の平均基準価額は、33,095円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

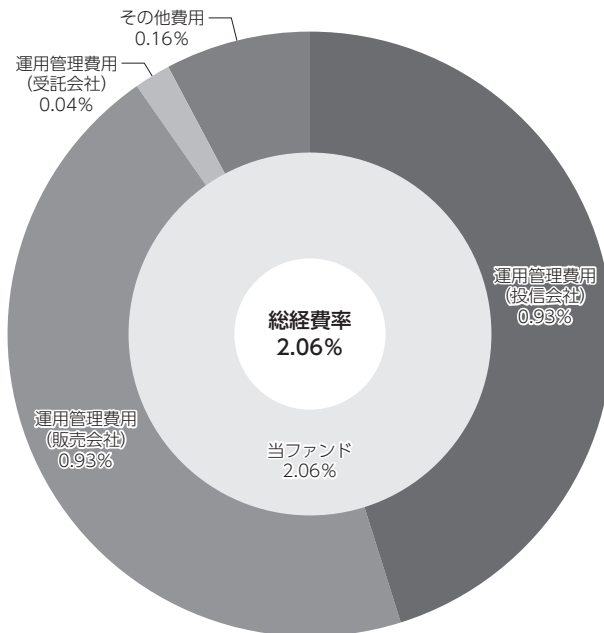
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.06%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

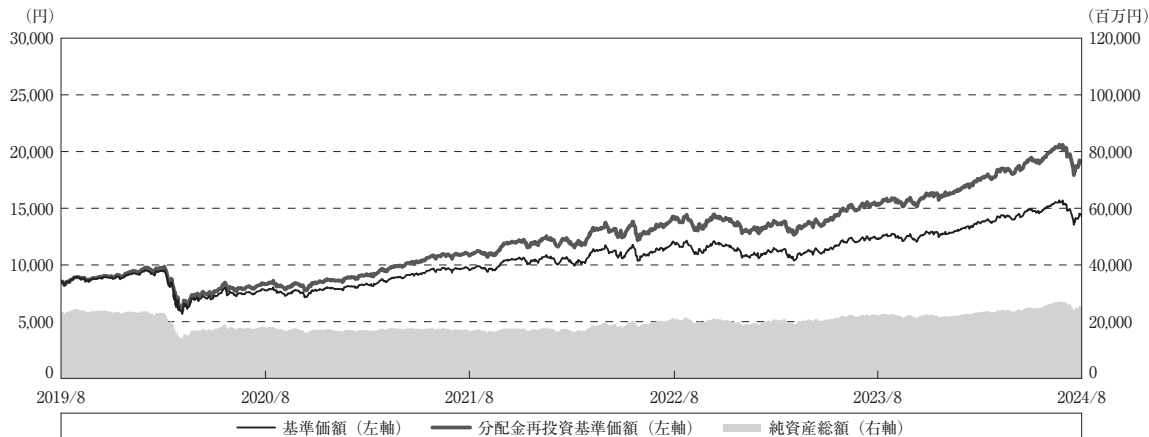
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

最近5年間の基準価額等の推移

（2019年8月20日～2024年8月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2019年8月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

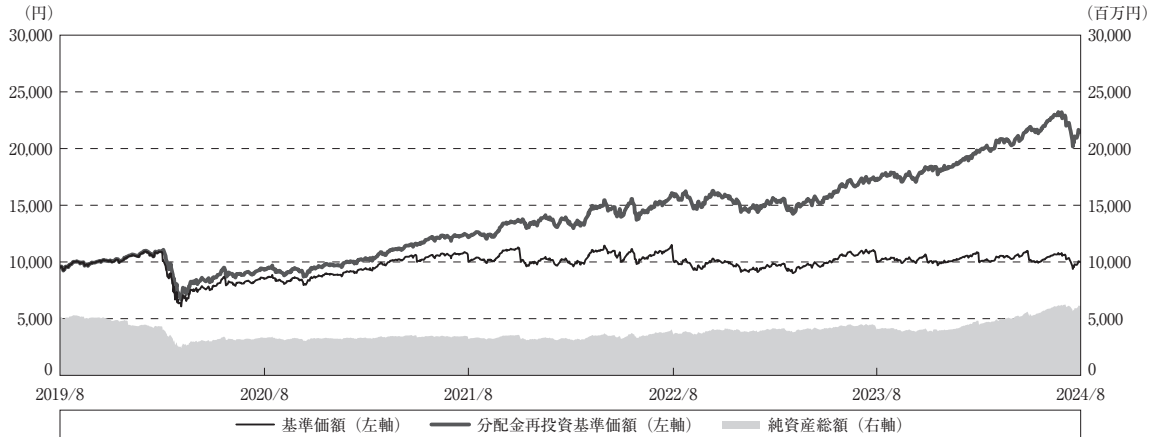
	2019年8月20日 決算日	2020年8月20日 決算日	2021年8月20日 決算日	2022年8月22日 決算日	2023年8月21日 決算日	2024年8月20日 決算日
基準価額 (円)	8,527	7,767	9,530	11,983	12,280	14,281
期間分配金合計(税込み) (円)	-	560	480	480	560	960
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 2.4	29.9	31.6	7.6	24.5
純資産総額 (百万円)	23,553	17,980	16,677	21,111	22,215	25,217

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

最近5年間の基準価額等の推移

（2019年8月20日～2024年8月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2019年8月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

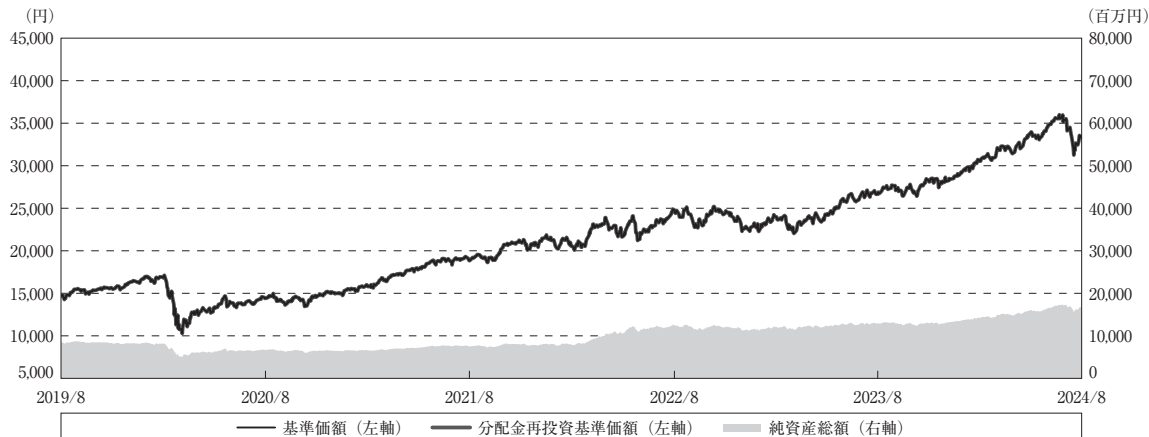
	2019年8月20日 決算日	2020年8月20日 決算日	2021年8月20日 決算日	2022年8月22日 決算日	2023年8月21日 決算日	2024年8月20日 決算日
基準価額 (円)	9,585	8,563	10,007	10,133	10,003	9,977
期間分配金合計(税込み) (円)	-	940	1,090	2,780	900	2,320
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 2.3	29.9	31.6	7.6	24.6
純資産総額 (百万円)	5,138	3,316	3,206	3,582	4,035	6,120

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

最近5年間の基準価額等の推移

（2019年8月20日～2024年8月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2019年8月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年8月20日 決算日	2020年8月20日 決算日	2021年8月20日 決算日	2022年8月22日 決算日	2023年8月21日 決算日	2024年8月20日 決算日
基準価額 (円)	14,804	14,479	18,828	24,791	26,690	33,258
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 2.2	30.0	31.7	7.7	24.6
純資産総額 (百万円)	8,468	6,712	7,483	12,538	12,919	16,681

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>

投資環境

（2024年2月21日～2024年8月20日）

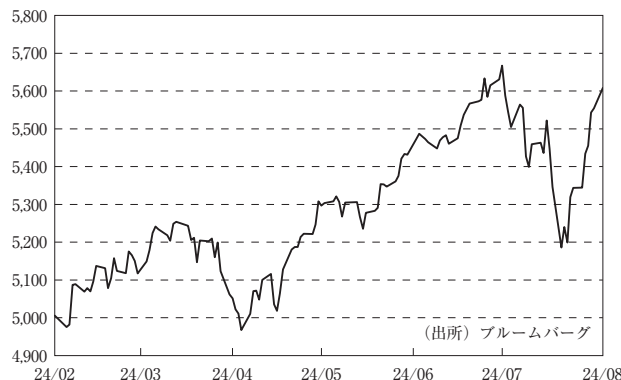
当作成期の米国株式相場は、上昇しました。

期の前半は、人工知能（AI）への期待からテクノロジー株への買いが継続したことに加え、米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ見通しを巡る楽観的な見方から債券利回りが低下したため、株価は上昇しました。しかしその後、堅調な米国経済指標を受けてFRBの利下げ期待が後退し、株価は下落しました。

期の半ばは、米雇用統計で雇用者数の増勢が市場予想よりも鈍化したほか、米消費者物価指数（CPI）の伸びが鈍化したことでFRBの利下げ期待が高まり、株価は上昇しました。

期の後半は、軟調な米国経済指標やパウエルFRB議長発言を背景にFRBの利下げ開始への期待が高まったため、株価は上昇しました。その後、バイデン米政権が中国に対して厳しい貿易制限を検討しているとの報道を受け、米中貿易摩擦の激化懸念が強まったほか、一部の大型ハイテク企業の決算が冴えなかったため、株価は下落しました。しかし、堅調な米国経済指標を受け、米国経済成長への安心感が広がると、期末にかけて株価は反発しました。

米国S&P 500指数の推移



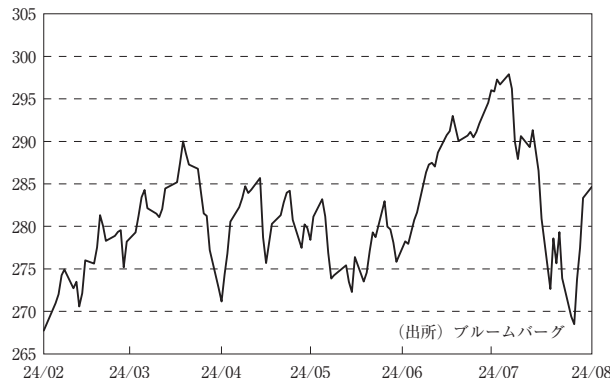
アレリアンMLP指数の推移

当作成期のMLP市場は、上昇しました。

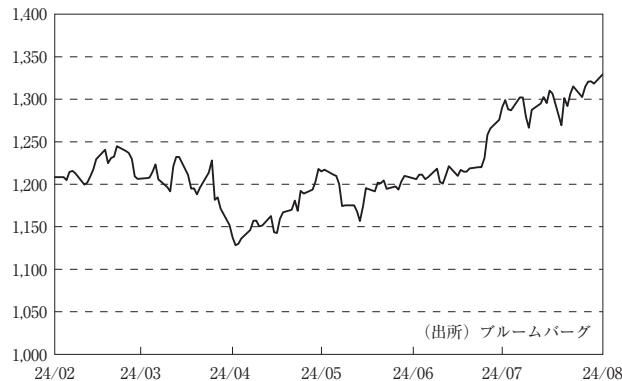
期の前半は、米国国債利回りが低下し、米国株式市場が堅調に推移する中、MLP市場は上昇しました。また、中東諸国からの供給減と中国の需要増加見通しなどを材料に原油先物価格が上昇したことも、MLP市場の上昇要因となりました。ただその後は、FRBの利下げ観測が後退し、MLP市場は下落しました。

期の半ばは、イスラエルとイスラム組織ハマスの間での、ガザ地区における戦闘休止に向けた交渉の進展に注目が集まる中、原油先物価格が下落したことから、MLP市場は下落する局面がありました。一方、FRBの利下げ期待が高まった場面では、MLP市場は底堅く推移しました。

期の後半は、中東情勢を巡る供給リスクへの警戒感等から原油先物価格が高値圏で推移し、米国株式市場も高水準を維持する中、MLP市場は上昇しました。ただその後は、米国株式市場が冴えない動きとなったことに加え、イスラエルとイスラム組織ハマスの停戦に向けた交渉が進み、中東を巡る緊張が緩和するとの見方を一因に原油先物価格が下落したことから、MLP市場は下落しました。しかし、期末にかけて米国株式市場が反発すると、MLP市場も反発しました。



MSCI US REIT指数の推移



当作成期のリート市場は、上昇しました。

期の前半は、冴えない米国経済指標などを背景に米国国債利回りが低下したため、リート市場は上昇しました。しかしその後、FRBの利下げ開始時期が後ずれする可能性があるとの見方が市場で広まり、リート市場は下落しました。

期の半ばは、米国の雇用統計やCPIの結果を受けてFRBの利下げ期待が高まり、米国国債利回りが低下したことから、リート市場は上昇しました。

期の後半は、軟調な米国経済指標やパウエルFRB議長の発言を背景にFRBの利下げ開始への期待が高まったため、株価は上昇しました。その後、米国株式市場が急落した局面では「質への逃避」の動きから債券への需要が高まったことを一因に米国国債利回りが低下したため、リート市場は堅調に推移しました。

当作成期の米ドル・円相場は、米ドル安・円高となりました。

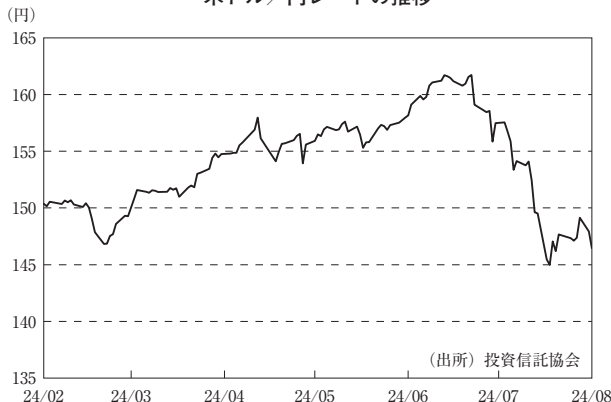
期の前半は、パウエルFRB議長の議会証言がハト派的と受け止められ、米ドルが幅広い通貨に対して下落する中、対円でも米ドル安が進む局面がありました。しかしその後、日銀がマイナス金利の解除などを発表したものの、市場では既に織り込み済みとの見方が強かったため、実際に金融政策決定会合で修正案が発表された後は、米ドル高・円安が進みました。

期の半ばは、米ドル・円相場が高水準で推移した後、急速に米ドル安・円高が進んだことから、市場では日本の政府・日銀による米ドル売り・円買いの為替介入があった可能性を指摘する声があがりました。ただその後は、日銀が金融政策決定会合で国債の買い入れ規模を減らす方針を決めたものの、減額の規模など具体的な内容が示されず、日銀が金融政策の正常化を慎重に進めようとしているのではないかと見方が市場で強まったことなどから、米ドル高・円安が優勢となりました。

期の後半は、日本の政府・日銀による米ドル売り・円買いの為替介入とみられる動きから米ドル安・円高が進行しました。その後も、日銀の追加利上げ観測およびFRBによる2024年9月の利下げ開始観測が米ドル売り・円買いの要因となりました。ただ、日銀関係者の発言を受けて日銀の追加利上げ観測が後退したほか、堅調な米国経済統計から米国経済の急減速リスクへの懸念が和らぐと、期末にかけて米ドル・円相場は下げ渋りました。

期の後半は、日本の政府・日銀による米ドル売り・円買いの為替介入とみられる動きから米ドル安・円高が進行しました。その後も、日銀の追加利上げ観測およびFRBによる2024年9月の利下げ開始観測が米ドル売り・円買いの要因となりました。ただ、日銀関係者の発言を受けて日銀の追加利上げ観測が後退したほか、堅調な米国経済統計から米国経済の急減速リスクへの懸念が和らぐと、期末にかけて米ドル・円相場は下げ渋りました。

米ドル／円レートの推移



<フランクリン・テンプレトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>

当ファンドのポートフォリオ

（2024年2月21日～2024年8月20日）

当ファンドは、主に「フランクリン・テンプレトン・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLPおよび不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期の運用においては、高水準の配当利回りが期待できる銘柄への投資を行いました。また、投資にあたっては、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着目してポートフォリオの構築を行いました。

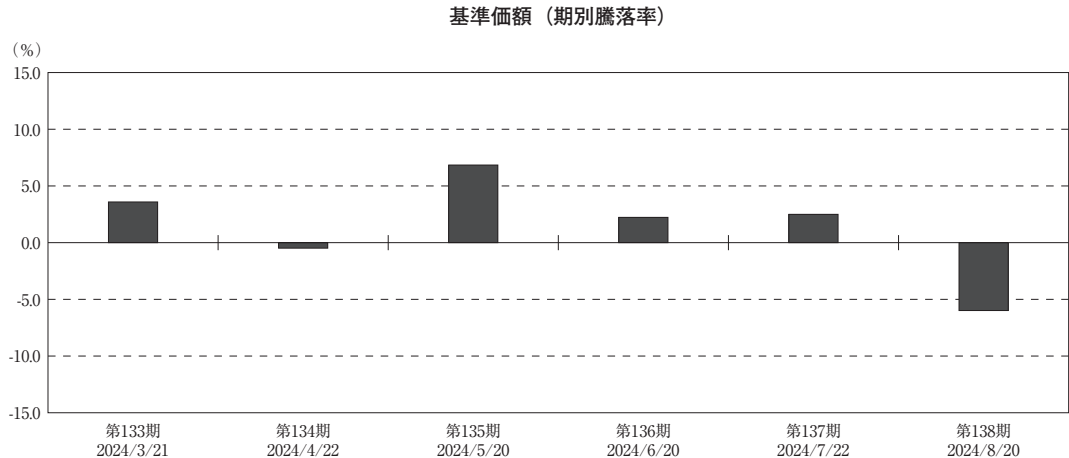
<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年2月21日～2024年8月20日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

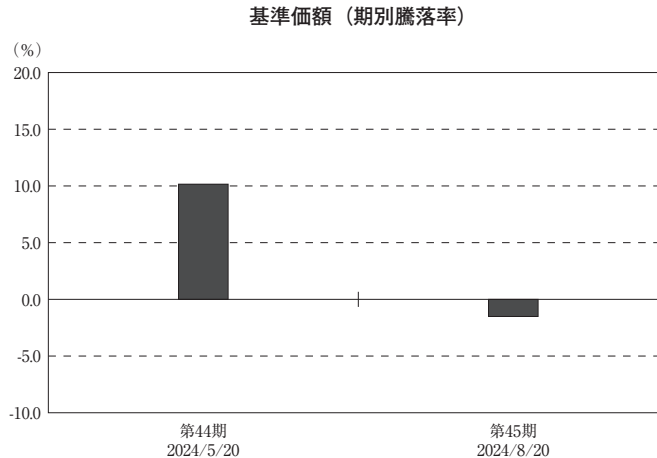
<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年2月21日～2024年8月20日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

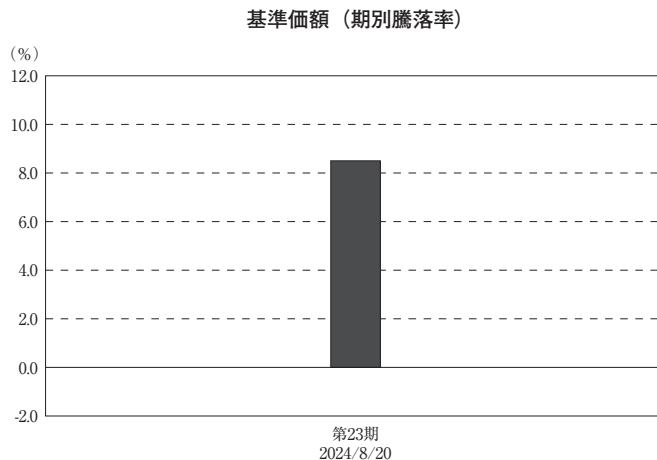
<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年2月21日～2024年8月20日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

<フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>

分配金

（2024年2月21日～2024年8月20日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期	第138期
	2024年2月21日～ 2024年3月21日	2024年3月22日～ 2024年4月22日	2024年4月23日～ 2024年5月20日	2024年5月21日～ 2024年6月20日	2024年6月21日～ 2024年7月22日	2024年7月23日～ 2024年8月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	60 0.423%	60 0.426%	120 0.802%	120 0.790%	120 0.777%	120 0.833%
当期の収益	60	-	120	120	120	17
当期の収益以外	-	60	-	-	-	102
翌期繰越分配対象額	6,124	6,064	6,831	7,046	7,292	7,190

フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第44期	第45期
	2024年2月21日～ 2024年5月20日	2024年5月21日～ 2024年8月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	890 8.076%	- -%
当期の収益	890	-
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	259	284

フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第23期
	2024年2月21日～ 2024年8月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	- -%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	23,257

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>

今後の運用方針

当ファンドは米国の株式、MLP、リートへの投資を目的としたファンドです。ポートフォリオにおいては、配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着目してポートフォリオの構築を行う方針です。

お知らせ

該当事項はございません。

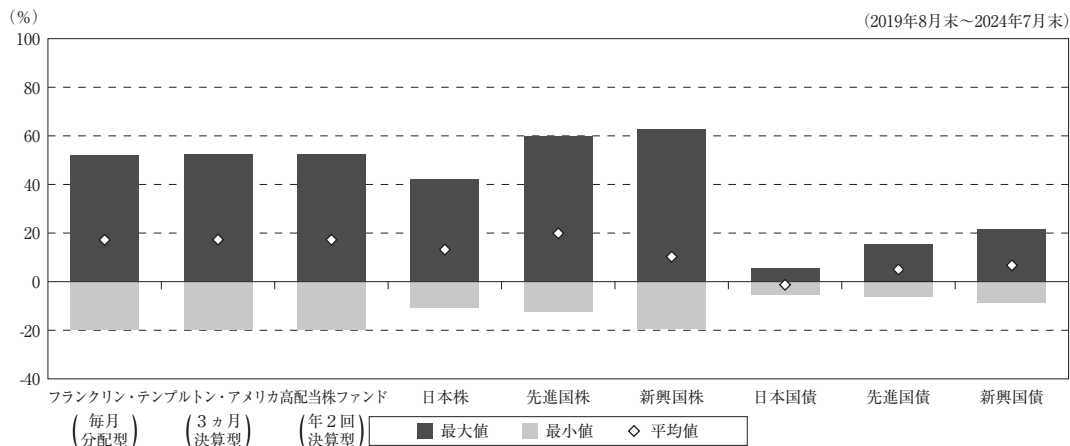
当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／資産複合	
信 託 期 間	（ 毎 月 分 配 型 ）	2013年3月8日～2033年2月18日まで
	（ 3 ヲ 月 決 算 型 ）	2013年7月19日～2044年2月18日まで
	（ 年 2 回 決 算 型 ）	2013年3月8日～2044年2月18日まで
運 用 方 針	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指します。	
主 要 投 資 対 象	当 フ ァ ン ド	「フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	当 フ ァ ン ド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	（ 毎 月 分 配 型 ）	原則として毎月20日。
	（ 3 ヲ 月 決 算 型 ）	原則として毎年2月、5月、8月および11月の各20日。
	（ 年 2 回 決 算 型 ）	原則として毎年2月20日および8月20日。
	上記各ファンドの決算日（休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>



	フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）	フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）	フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	52.2	52.4	52.5	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値	△ 19.9	△ 19.9	△ 19.8	△ 10.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	17.2	17.2	17.3	13.2	19.9	10.3	△ 1.3	5.0	6.7

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）2019年8月から2024年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

（※）各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

<フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

組入資産の内容

（2024年8月20日現在）

○組入上位ファンド

銘柄名	第138期末
フランクリン・templton・アメリカ高配当株マザーファンド	101.0%
組入銘柄数	1銘柄

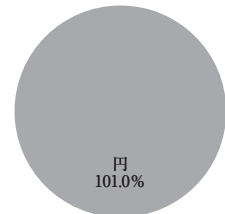
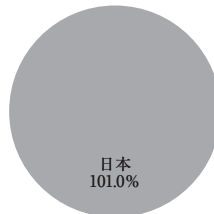
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末	第138期末
	2024年3月21日	2024年4月22日	2024年5月20日	2024年6月20日	2024年7月22日	2024年8月20日
純資産総額	23,865,167,783円	23,508,141,634円	24,873,069,890円	25,854,109,218円	26,765,297,537円	25,217,341,288円
受益権総口数	16,876,675,955口	16,777,407,059口	16,748,099,574口	17,164,792,423口	17,473,574,764口	17,658,149,087口
1万口当たり基準価額	14,141円	14,012円	14,851円	15,062円	15,318円	14,281円

* 当作成期間（第133期～第138期）中における追加設定元本額は2,079,401,284円、同解約元本額は1,372,241,579円です。

当ファンドのデータ

<フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

組入資産の内容

（2024年8月20日現在）

○組入上位ファンド

銘柄名	第45期末
フランクリン・templton・アメリカ高配当株マザーファンド	100.5%
組入銘柄数	1銘柄

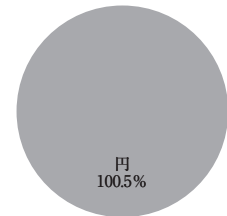
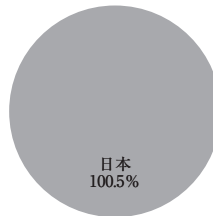
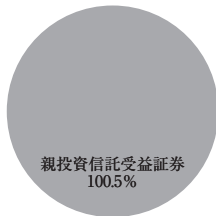
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第44期末	第45期末
	2024年5月20日	2024年8月20日
純資産総額	5,221,000,931円	6,120,892,859円
受益権総口数	5,153,813,545口	6,134,779,350口
1万口当たり基準価額	10,130円	9,977円

* 当作成期間（第44期～第45期）中における追加設定元本額は2,197,941,844円、同解約元本額は518,991,335円です。

当ファンドのデータ

<フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

組入資産の内容

（2024年8月20日現在）

○組入上位ファンド

銘柄名	第23期末
フランクリン・templton・アメリカ高配当株マザーファンド	100.9%
組入銘柄数	1銘柄

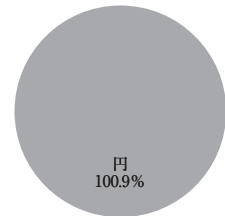
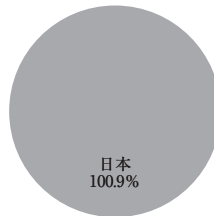
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

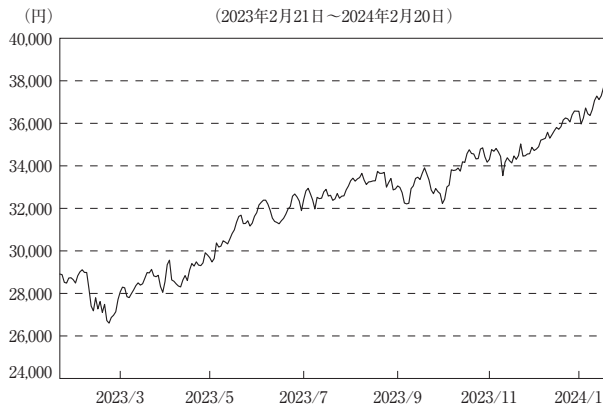
項目	第23期末
	2024年8月20日
純資産総額	16,681,206,432円
受益権総口数	5,015,764,494口
1万口当たり基準価額	33,258円

*期中における追加設定元本額は736,218,460円、同解約元本額は372,221,148円です。

組入上位ファンドの概要

フランクリン・テンプレトン・アメリカ高配当株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年2月21日～2024年2月20日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株証券) (投資証券) (MLP)	8 (7) (1) (0)	0.025 (0.021) (0.004) (0.000)
(b) 有価証券取引税 (株証券) (投資証券) (MLP)	0 (0) (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000) (0.000)
(c) その他費用 (保管の費用) (その他の) (その他の) (その他の)	186 (3) (△4) (186) (0)	0.579 (0.009) (△0.011) (0.582) (0.000)
合計	194	0.604

期中の平均基準価額は、32,015円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

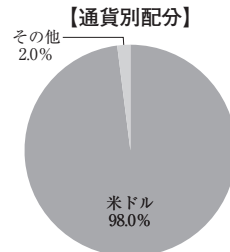
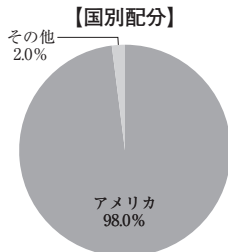
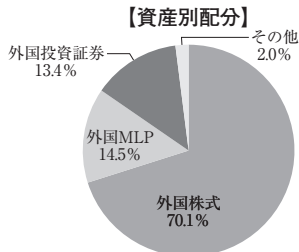
(2024年2月20日現在)

銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
				%
1 ENERGY TRANSFER LP	MLP	米ドル	アメリカ	4.8
2 BLACKSTONE INC	金融	米ドル	アメリカ	4.1
3 MICROSOFT CORP	情報技術	米ドル	アメリカ	4.0
4 ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS	MLP	米ドル	アメリカ	3.8
5 APPLE INC	情報技術	米ドル	アメリカ	3.6
6 BROADCOM INC	情報技術	米ドル	アメリカ	3.1
7 APOLLO GLOBAL MANAGEMENT	金融	米ドル	アメリカ	2.9
8 ONEOK INC	エネルギー	米ドル	アメリカ	2.9
9 WILLIAMS COS INC	エネルギー	米ドル	アメリカ	2.7
10 JPMORGAN CHASE & CO	金融	米ドル	アメリカ	2.5
組入銘柄数	64銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。